



第5章

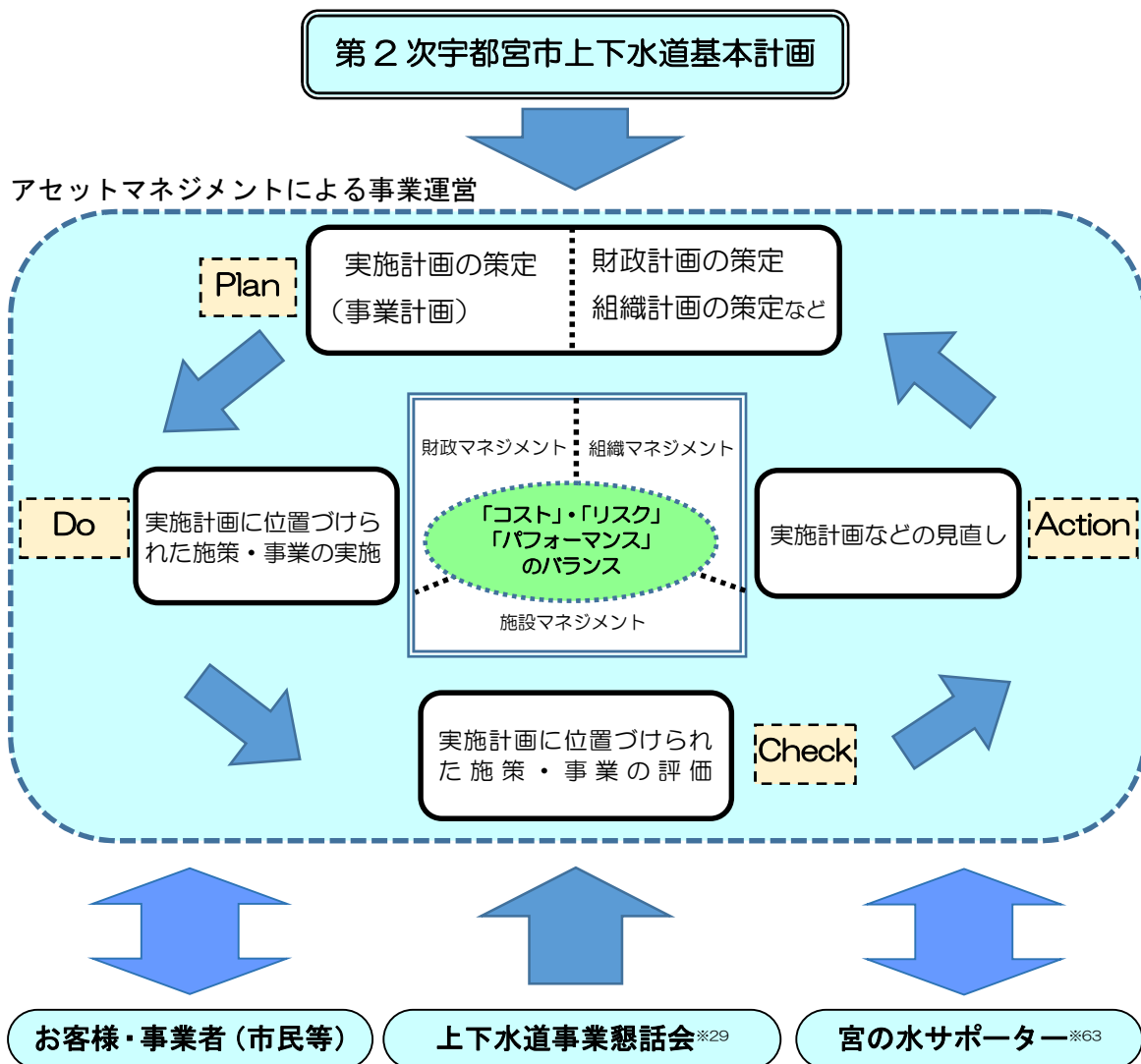
基本計画の推進体制

第5章 基本計画の推進体制

1 アセットマネジメント※1による上下水道事業の推進体制

アセットマネジメントとは、施設の建設や維持管理に要する「コスト」、老朽化や災害等の「リスク」、施設の能力などの「パフォーマンス」の最適なバランスを達成するため、PDCAサイクル※70の中で、組織・施設・財政（アセット）を有効に活用することです。また、PDCAサイクルとは、計画策定・目標の設定を行い、事業の実施結果などの評価を踏まえて、組織体制や事業手法などの継続的な改善を図ることです。

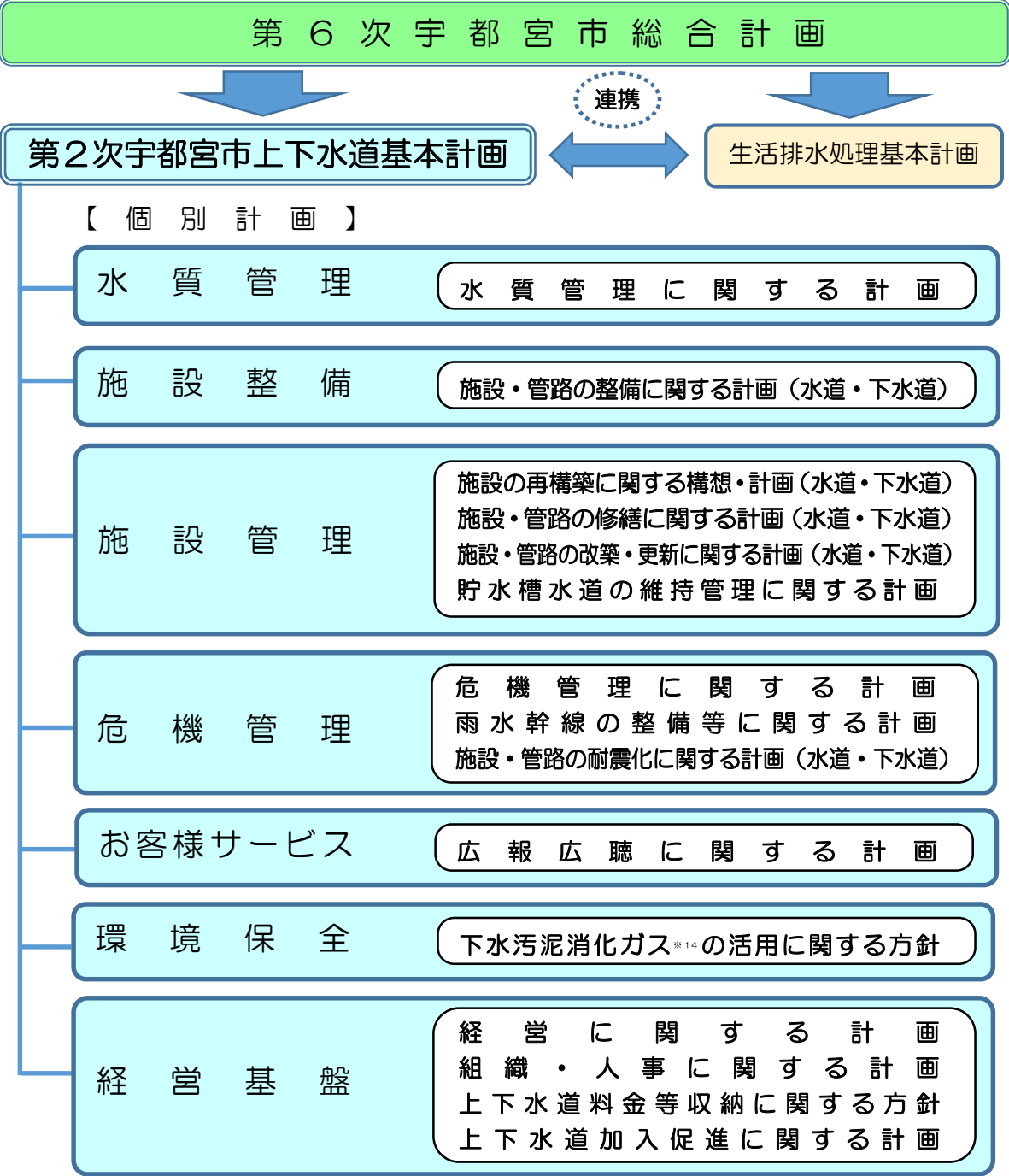
限られた財源と組織体制において、これまで整備してきた施設の維持管理や、地震・集中豪雨などの災害対策に取り組んでいく必要があるため、アセットマネジメントの考えに基づき、リスクの大きさなどを評価し、財政や組織の長期的な見通しを踏まえ、施策・事業の優先順位を十分に検討しながら、将来において持続可能な事業運営を推進していきます。



2 個別計画の体系（個別計画による事業の推進）

「第2次宇都宮市上下水道基本計画」は、本市の将来像を実現するための基本的な考え方などを示した「第6次宇都宮市総合計画」の分野別計画として、今後の本市上下水道の進むべき方向性を示した事業の根幹に位置する計画です。

第2次宇都宮市上下水道基本計画のもと、事業を計画的かつ効果的に推進するため、上下水道の各分野において、個別計画を策定し、より具体的に事業の進捗管理などを行いながら、適切に事業を推進していきます。



うつのみやの水道・下水道の歴史



川田水再生センター消化ガス発電施設

2016（平成28）年3月に環境負荷低減を推進するため、川田水再生センター内において、下水汚泥消化ガスを使用した燃料電池式発電施設として、国内最大級の能力を持つ施設を開設しました。

また、4月から発電事業を開始し、その電力を売電する事業を実施しており、経営基盤の強化にも繋げています。



宇都宮市水道100周年・下水道50周年記念式典

1916（大正5）年3月に給水が開始されてから100年が、また、1965（昭和40）年8月に下水の処理が開始されてから50年が経過し、その節目として、2016（平成28）年6月に記念式典を開催しました。

式典には、国・県の関係団体の方々に参加いただき、本市の上下水道事業に対する功労者への感謝状の贈呈などを行いました。